

■授業の目的

本科目は、工学部の教職課程用の必修科目であり、国際学部農業総合コースの学生たちと一緒にを行う科目で、「栽培Ⅰ」において習得した知識を踏まえ、実際の畑にて、播種・定植から栽培管理、収穫までを一貫して体験することを目的とする。

■授業の到達目標

「栽培Ⅰ」において習得した基礎知識を応用して、40種類以上の作物を実際に育てながら、播種の方法、苗の定植の方法、整枝技術、病虫害管理技術、収穫技術を体得していくことを到達目標とする。本科目は、「卒業認定・学位授与の方針」の中で謳う「専門的知識」を身につけるための科目である。

注) 本科目の履修者は実験・実習費等を別途支払う必要があります。作業着、長靴、手袋等は各自購入する必要があります。

■授業計画

- 1 栽培準備
堆肥のすきこみ、クワやトラクターによる耕耘、石灰のすき込み等を行う。
- 2 春夏野菜の播種
ダイコン、ラディッシュ、スイートコーン、ミズナ等の播種を行う。
- 3 春夏野菜の定植①
キャベツ苗、レタス苗の定植、ナガイモ、サトイモの植え付け等を行う。
- 4 春夏野菜の定植②
カボチャ苗、コーラビ苗、ズッキーニ苗、キュウリ苗、ミニトマト苗等の定植を行う。
- 5 春夏野菜の定植③
ナス苗、ピーマン苗、サツマイモ苗、メロン苗等の定植を行う。
- 6 水田準備
水田の除草、代かき、ジャガイモの芽かき、ダイコンの間引きを行う。
- 7 作物の整枝
カボチャ、トマト、キュウリ、メロン、ピーマン等の整枝を行う。
- 8 田植え
水田へのイネの田植え、イノシシとうの獣害対策を行う。
- 9 農業ビジネスの現場
八王子市内のプロ農家を訪問、現場の農業技術および経営を体験する。
- 10 春野菜の収穫技術
キュウリ、ズッキーニ、ダイコン、ジャガイモ等の収穫を行う。
- 11 緑肥の準備
マリゴールド、ネマヘラ草などの緑肥の播種。ナス、ピーマン、トマトなどの収穫を行う。
- 12 夏野菜の収穫技術
ナス、トマト、ピーマン、ズッキーニ、オクラ、カボチャ、キャベツ等の収穫を行う。
- 13 農産加工技術
味噌の天地返し。夏野菜の整枝と収穫を行う。
- 14 イスラエル式最先端農法
世界最先端のイスラエル式ドリップ・ファーターティゲイションを体験する。
- 15 養蜂
養蜂体験。内検の方法、ミツバチ群の管理の方法、採蜜の方法、餌の与え方、病気への対処法などの基礎知識を学ぶ。

■授業の方法

実習は国際学部農園（駐車場横）および八王子市内農家にて行う。春夏は作物の生長が旺盛であり、農園は毎日めまぐるしく変化する。そういった気象、土壌、肥料、作物、灌漑の相互関係を体で学んでいってもらいたい。

■予習・復習

実習で行った作業を記録しておくことは必須です。予習、復習については、専門書などで深めてください。授業日以外にも、農園に来て観察をすることが重要です。中間レポートについては、個別コメントをして返却し、学期末により充実したレポートを求めます。

■成績評価の方法

全出席を原則とし、実習授業での態度・作業の貢献を80%、宿題・レポートを20%と配点するが、また授業日以外にも作業をしなくてはならない場合もあり、それらへの積極性も授業態度・作業貢献ということで評価する。

■教科書・参考書

教科書：開講時に指示する。

■関連する科目

職業指導Ⅰ、職業指導Ⅱ、木材加工